

開講年度	令和2年度	開講期間	通年
科目名	運動生理学		
担当教員	今野 哲男		
学年	2年	学科	昼間部 作業・理学
単位数	4単位	時間数	60(30)時間
学習目標	<p>わが国も人生80年という高齢化社会の時代を迎えて、健康の問題は避けて通れない大きな関心事になってきているが、生涯を通じて健康で活力あふれる人生を送りたいという願いは誰にも共通のものであろう。理学療法士は、本邦における予防医学の一端を担う職種である。本講義では、理学療法士が習得すべき運動生理学の基本事項について習得することを目標とする。さらに、筋肥大、筋力増強に関する最新の知見について学修する。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 筋線維の種類とその特徴① 2. 筋線維の種類とその特徴② 3. 筋収縮とエネルギー供給系① 4. 筋収縮とエネルギー供給系② 5. 筋収縮とエネルギー供給系③ 6. 神経系の役割① 7. 神経系の役割② 8. 神経系の役割③ 9. 筋力トレーニング処方① 10. 筋力トレーニング処方② 11. 筋疲労の要因 12. 運動と体温調節 13. 運動と栄養 14. 身体組成と肥満 15. 国家試験対策 		
教科書	使用しない		
参考書	<p>『入門運動生理学』【編著】勝田茂（杏林書院） 『健康スポーツ生理学』【著】東照正、高島規郎（医療科学センター 卓球王国） 『1から学ぶスポーツ生理学』【著】中里浩一 他（NAP LIMITED） 『リハビリテーション運動生理学』【著】玉木彰（メジカルビュー社） 『カラー図解 人体の正常構造と機能』【著】坂井建雄、河原 克雅（日本医事新報社）</p>		
評価方法	出席状況、授業態度、筆記試験		
備考	復習をしっかりとすること。		

開講年度	令和2年度	開講期間	通年
科目名	整形外科科学		
担当教員	江口 昌充		
学年	2年	学科	昼間部 作業・理学
単位数	4単位	時間数	60(30)時間
学習目標	臨床で多くみられる疾患を中心に、整形外科疾患の発生機序・診断・治療の基礎的な知識を理解する。また、運動器の理学療法の基盤となるようにそれぞれの疾患の知識を定着させる。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション・骨、関節の構造、病態生理 2. 整形外科診断学(X線、MRI) 3. 外傷総論、組織の修復過程 4. 肩関節疾患① 5. 肩関節疾患② 6. 肩関節疾患③ 7. 肘関節疾患① 8. 肘関節疾患② 9. 肘関節疾患③ 10. 手関節疾患① 11. 手関節疾患② 12. 手関節疾患③ 13. 末梢神経障害(上肢①) 14. 末梢神経障害(上肢②) 15. 慢性関節疾患(退行性・代謝性) 		
教科書	『標準整形外科科学』【編】中村利孝（医学書院）		
参考書	『整形外科学テキスト』【著】高橋邦泰、芳賀信彦（南光堂） 『整形外科手術後療法ハンドブック』【著】片田重彦（南光堂） 『STEP整形外科(STEP Series)』【監】高橋正明（海馬書店）		
評価方法	筆記試験・出席状況		
備考	範囲が広いため、予習・復習を行ってください。		

開講年度	令和2年度	開講期間	前期
科目名	内科学		
担当教員	有木 則文		
学年	2年	学科	昼間部 作業・理学
単位数	2単位	時間数	30時間
学習目標	疾患の病態を知る。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 総論 2. 血液疾患 3. 循環器疾患 4. 循環器疾患 5. 循環器疾患 6. 呼吸器疾患 7. 呼吸器疾患 8. 呼吸器疾患 9. 消化器疾患 10. 消化器疾患 11. 消化器疾患 12. 消化器疾患 13. 消化器疾患 14. 内分泌代謝免疫疾患 15. 腎疾患 		
教科書	使用しない		
参考書	『よくわかる内科』【著】福山裕三・高杉佑一（金原出版）		
評価方法			
備考			

開講年度	令和2年度	開講期間	通年
科目名	神経内科学		
担当教員	三吉 舞子		
学年	2年	学科	昼間部 作業・理学
単位数	4単位	時間数	60(30)時間
学習目標	臨床で遭遇する神経疾患の原因・病態生理・神経症候・検査について学ぶ。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 総論 2. 頭痛、てんかん① 3. 頭痛、てんかん② 4. 感染性疾患① 5. 感染性疾患② 6. 脱髄疾患① 7. 脱髄疾患② 8. 筋萎縮性側索硬化症① 9. 筋萎縮性側索硬化症② 10. パーキンソン病① 11. パーキンソン病② 12. 脊髄小脳変性症① 13. 脊髄小脳変性症② 14. 末梢神経障害 15. まとめ 		
教科書	『標準神経病学』【編】栗原照幸 他（医学書院）		
参考書	『理学療法テキスト神経障害理学療法学Ⅱ（15レクチャーシリーズ）』【編】石川朗（中山書店） 『系統理学療法学 神経障害系理学療法学』【著】丸山仁司（医歯薬出版）		
評価方法	筆記試験（前期試験と後期試験の合算で判定します。）		
備考			

開講年度	令和2年度	開講期間	前期
科目名	小児科学		
担当教員	久保田 千代美		
学年	2年	学科	昼間部 作業・理学
単位数	2単位	時間数	30時間
学習目標	正常小児の成長・発達と小児の疾病における特性を概説し、作業・理学療法士として小児の障害にも専門的に対応できる能力を習得する。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小児の成長・発育と発達 2. 小児の神経系・感覚系・運動系の発達 3. 新生児・未熟児疾患 4. 先天異常と遺伝病 5. 神経・筋・骨系疾患 6. 循環器疾患、呼吸器疾患 7. 感染症 8. 消化器疾患、内分泌・代謝疾患 9. 血液疾患、免疫・アレルギー疾患、膠原病 10. 腎・泌尿器系、生殖器疾患、腫瘍性疾患、心身症、神経症 11. 眼科・耳鼻科的疾患 12. 発達遅延を伴う疾患 13. 発達障害(多動性障害・広汎性発達障害) 14. 発達障害(学習障害・アスペルガー障害) 15. 不登校と子どもの虐待・重症心身障害児 		
教科書	『STEP小児科(STEP SERIES)』【監】畑江芳郎、小林良二、西基 (海馬書房)		
参考書	『シンプル理学療法学シリーズ 小児理学療法学テキスト』 【著】田原弘幸・大城昌平 (南江堂) 『イラスト小児科』 【著】守田哲郎 (文光堂)		
評価方法	出席状況、課題、試験により総合的に評価する。		
備考			

開講年度	令和2年度	開講期間	前期
科目名	障害者スポーツ		
担当教員	仁泉 健太郎		
学年	2年	学科	昼間部 作業・理学
単位数	2単位	時間数	30時間
学習目標	<p>障がい者スポーツを実際に体験することにより、障がい者や障がい特性等の理解を深める。また、今後、障がい者スポーツと関わる中で障がい者の生活の質の向上に貢献できることを目的とする。なお本単位修得後、該当年度末に申請を行えば(有料)、障がい者スポーツ指導員初級の資格を取得することができる。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本障がい者スポーツ協会資格認定制度について 障がい者スポーツの意義と理念 2. 障害者福祉施策と障がい者スポーツ・ボランティア論・全国障害者スポーツ大会の概要 3. 安全管理(RICE処置やテーピング) 4. 障がいに応じたスポーツの工夫・実施(概要・ルール説明)① 5. 障がいに応じたスポーツの工夫・実施(概要・ルール説明)② 6. テーピング実技 コート作成 7. 障がいに応じたスポーツの工夫・実施①ボッチャ 8. 障がいに応じたスポーツの工夫・実施②フライングディスク 9. 障がいに応じたスポーツの工夫・実施③サウンドテーブルテニス 10. 障がいに応じたスポーツの工夫・実施④卓球 11. 障がいに応じたスポーツの工夫・実施⑤シッティングバレーボール 12. 障がいに応じたスポーツの工夫・実施⑥シッティングバレーボール 13. 障がいに応じたスポーツの工夫・実施⑦ゴールボール 14. コート整理 まとめ 15. まとめ 		
教科書	配付資料		
参考書	<p>『障害者スポーツ指導教本 初球・中級』【著】日本障がい者スポーツ協会 (ぎょうせい) 『全国障がい者スポーツ大会競技規則集(解説付)』(日本障がい者スポーツ協会)</p>		
評価方法	期末試験・出席点・受講態度等		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・100円ショップでアイマスクを1つ購入しておいてください! ・実技をする際はジャージ等動きやすい服装に着替えてください! ・9月に救急救命講習を救急救命学科教員・学生に指導していただく予定です。この講義出席が障害者スポーツの最終的な単位取得の条件とします。 		

開講年度	令和2年度	開講期間	前期
科目名	理学療法セミナー		
担当教員	村上 彰宏		
学年	2年	学科	昼間部 理学
単位数		時間数	30(15)時間
学習目標	国家試験に必要なとなる基礎専門分野の知識を習得する。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国家試験対策 解剖学① 2. 国家試験対策 生理学① 3. 国家試験対策 運動学① 4. 国家試験対策 解剖学② 5. 国家試験対策 生理学② 6. 国家試験対策 運動学② 7. 国家試験対策 運動学③ 8. 国家試験対策 解剖生理学 脳神経 9. 国家試験対策 解剖生理学 内分泌 10. 国家試験対策 解剖学③ 11. 国家試験対策 3科目① 12. 国家試験対策 3科目② 13. 国家試験対策 3科目③ 14. 国家試験対策 3科目④ 15. 国家試験対策 3科目⑤ 		
教科書			
参考書	『ポケットマスター PT/OT国試 必修ポイント 臨床医学 2019』 (医歯薬出版) 『ポケットマスター PT/OT国試 必修ポイント 基礎理学 2019』 (医歯薬出版) 各種国家試験問題集		
評価方法	出席状況・課題学習への取り組みを総合的に評価する。		
備考	各講の概要を教科書で確認するとともに、国家試験問題の解答、解説作りを通じて、ポイントを整理して理解を深めよう。		

開講年度	令和2年度	開講期間	通年
科目名	基礎運動学		
担当教員	江口 昌充		
学年	2年	学科	昼間部 理学
単位数	4単位	時間数	60(30)時間
学習目標	国家試験に必要なとなる基礎専門分野の知識を習得する。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 骨格系(1) 2. 骨格系(2) 3. 骨格系(3) 4. 筋系(1) 5. 筋系(2) 6. 筋系(3) 7. 神経系(1) 8. 神経系(2) 9. 神経系(3) 10. 組織:細胞の構造・発生 11. 四肢と体幹の運動(1) 12. 四肢と体幹の運動(2) 13. 四肢と体幹の運動(3) 14. 四肢と体幹の運動(4) 15. 四肢と体幹の運動(5) 		
教科書	『基礎運動学』【著】中村隆一（医歯薬出版） 『病気がみえる〈vol.7〉脳・神経』【編】医療情報科学研究所（メディックメディア） 『系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 人体の構造と機能「1」』 【著】坂井健雄・岡田隆夫（医学書院） 『カラー人体解剖学－構造と機能・ミクロからマクロまで－』 【著】F.Hマティーニ 他（西村書店）		
参考書	各種国家試験問題集		
評価方法	出席状況・課題学習への取り組み・期末試験により総合的に評価する。		
備考	各講の概要を教科書で確認するとともに、国家試験問題の解答、解説作りを通じて、ポイントを整理して理解を深めよう。		

開講年度	令和2年度	開講期間	前期
科目名	精神医学 I		
担当教員	遠藤 健一郎		
学年	2年	学科	昼間部 理学
単位数	2単位	時間数	30時間
学習目標	【疾患の分類と診断基準】、【精神障害における症状】、【補助診断】、【精神障害各論】、【精神科医療の法律】、【精神科包括治療】の六つの柱で構成される系統的な講義により、将来、精神科専門領域で仕事をすることは限らない理学療法学科や作業療法学科の学生が、臨床実践で必要とされる精神医学的な基礎知識を身につける。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 【疾患の分類と診断基準】、【精神障害における症状】精神症状① 2. 【精神障害における症状】精神症状② 3. 【精神障害における症状】精神状態および高次脳機能障害、【補助診断】 4. 【精神障害各論】症状性を含む器質性精神障害① 5. 【精神障害各論】症状性を含む器質性精神障害② 6. 【精神障害各論】精神作用物質による精神および行動の障害 7. 【精神障害各論】統合失調症、統合失調型障害および妄想性障害 8. 【精神障害各論】気分(感情)障害 9. 【精神障害各論】神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害 10. 【精神障害各論】生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群 11. 【精神障害各論】成人のパーソナリティおよび行動の障害 12. 【精神障害各論】ライフサイクルにおける精神医学① 13. 【精神障害各論】ライフサイクルにおける精神医学②、【精神科医療の法律】 14. 【精神科包括治療】身体的治療 15. 【精神科包括治療】心理社会的治療、リエゾン精神医学 		
教科書	『学生のための精神医学』 【著者】太田保之 (医歯薬出版)		
参考書			
評価方法	期末試験		
備考			

開講年度	令和2年度	開講期間	通年
科目名	基礎理学療法学Ⅲ		
担当教員	古志 幸		
学年	2年	学科	昼間部 理学
単位数	2単位	時間数	60(30)時間
学習目標	理学療法の治療技術である運動療法を学ぶに当たり、評価及び治療の基礎的知識を身につける。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 運動療法の基礎 2. 触診(上肢) 3. 触診(下肢) 4. 関節可動域の改善① 5. 関節可動域の改善② 6. 関節可動域の改善③ 7. ストレッチング① 8. ストレッチング② 9. ストレッチング③ 10. 筋力の改善① 11. 筋力の改善② 12. 持久力の改善 13. 姿勢障害に対する運動療法① 14. 姿勢障害に対する運動療法② 15. 運動学習 		
教科書	『運動療法 障害別アプローチの理論と実際』【著】市橋則明 (文光堂)		
参考書	『運動療法のための機能解剖学的触診術 上肢』【監】青木隆明 (メジカルビュー社) 『運動療法のための機能解剖学的触診術 下肢・体幹』【監】青木隆明 (メジカルビュー社) 『運動器療法学』【編】柳原健 (金原出版)		
評価方法	筆記試験・出席状況		
備考	学習したことは復習し、自分なりに整理しましょう。 各運動療法の講義で国家試験の過去問を取り入れていきます。		

開講年度	令和2年度	開講期間	通年
科目名	理学療法評価学Ⅰ		
担当教員	植田 一輝 ・ 村上 彰宏		
学年	2年	学科	昼間部 理学
単位数	2単位	時間数	60(30)時間
学習目標	理学療法評価についての臨床的理解を深める。 1年次に履修した人体の構造と機能をもとに評価法を理解し、評価技術を習得する。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 評価総論 2. 問診 3. 形態測定(状況に応じた測定の展開) 4. 形態測定(状況に応じた測定の展開) 5. バイタルサインの測定① 6. バイタルサインの測定② 7. 感覚検査① 8. 感覚検査② 9. 反射検査① 10. 反射検査② 11. 筋緊張検査① 12. 筋緊張検査(ケーススタディ) 13. 協調性検査① 14. 協調性検査(ケーススタディ) 15. 国家試験対策 		
教科書	『理学療法評価学』【著】松澤正(金原出版) 『理学療法検査・測定ガイド』【編】奈良勲(分光堂)		
参考書	適宜紹介する。		
評価方法	筆記試験		
備考			

開講年度	令和2年度	開講期間	通年																														
科目名	理学療法評価学Ⅱ																																
担当教員	植田 一輝 ・ 村上 彰宏																																
学年	2年	学科	昼間部 理学																														
単位数	4単位	時間数	120(60)時間																														
学習目標	理学療法評価についての臨床的理解を深める。 1年次に履修した人体の構造と機能をもとに評価法を理解し、評価技術を習得する。																																
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>1. ROM-T総論</td> <td>16. ROM-T 上肢(状況に応じた測定の展開)</td> </tr> <tr> <td>2. ROM-T 下肢(状況に応じた測定の展開)</td> <td>17. ROM-T実技テスト(上肢)</td> </tr> <tr> <td>3. ROM-T 下肢(状況に応じた測定の展開)</td> <td>18. ROM-T実技テスト(上肢)</td> </tr> <tr> <td>4. ROM-T 下肢(状況に応じた測定の展開)</td> <td>19. フィードバック・上肢復習</td> </tr> <tr> <td>5. ROM-T 下肢(状況に応じた測定の展開)</td> <td>20. フィードバック・上肢復習</td> </tr> <tr> <td>6. ROM-T 下肢(状況に応じた測定の展開)</td> <td>21. MMT総論</td> </tr> <tr> <td>7. ROM-T実技テスト(下肢)</td> <td>22. MMT肩関節①</td> </tr> <tr> <td>8. ROM-T実技テスト(下肢)</td> <td>23. MMT肩関節②</td> </tr> <tr> <td>9. フィードバック・下肢復習</td> <td>24. MMT肘関節・手関節</td> </tr> <tr> <td>10. フィードバック・下肢復習</td> <td>25. MMT肩甲骨</td> </tr> <tr> <td>11. ROM-T 頸部・体幹(状況に応じた測定の展開)</td> <td>26. MMT上肢まとめ</td> </tr> <tr> <td>12. ROM-T 上肢(状況に応じた測定の展開)</td> <td>27. MMT実技テスト(上肢)</td> </tr> <tr> <td>13. ROM-T 上肢(状況に応じた測定の展開)</td> <td>28. MMT実技テスト(上肢)</td> </tr> <tr> <td>14. ROM-T 上肢(状況に応じた測定の展開)</td> <td>29. フィードバック・上肢復習</td> </tr> <tr> <td>15. ROM-T 上肢(状況に応じた測定の展開)</td> <td>30. フィードバック・上肢復習</td> </tr> </table>			1. ROM-T総論	16. ROM-T 上肢(状況に応じた測定の展開)	2. ROM-T 下肢(状況に応じた測定の展開)	17. ROM-T実技テスト(上肢)	3. ROM-T 下肢(状況に応じた測定の展開)	18. ROM-T実技テスト(上肢)	4. ROM-T 下肢(状況に応じた測定の展開)	19. フィードバック・上肢復習	5. ROM-T 下肢(状況に応じた測定の展開)	20. フィードバック・上肢復習	6. ROM-T 下肢(状況に応じた測定の展開)	21. MMT総論	7. ROM-T実技テスト(下肢)	22. MMT肩関節①	8. ROM-T実技テスト(下肢)	23. MMT肩関節②	9. フィードバック・下肢復習	24. MMT肘関節・手関節	10. フィードバック・下肢復習	25. MMT肩甲骨	11. ROM-T 頸部・体幹(状況に応じた測定の展開)	26. MMT上肢まとめ	12. ROM-T 上肢(状況に応じた測定の展開)	27. MMT実技テスト(上肢)	13. ROM-T 上肢(状況に応じた測定の展開)	28. MMT実技テスト(上肢)	14. ROM-T 上肢(状況に応じた測定の展開)	29. フィードバック・上肢復習	15. ROM-T 上肢(状況に応じた測定の展開)	30. フィードバック・上肢復習
1. ROM-T総論	16. ROM-T 上肢(状況に応じた測定の展開)																																
2. ROM-T 下肢(状況に応じた測定の展開)	17. ROM-T実技テスト(上肢)																																
3. ROM-T 下肢(状況に応じた測定の展開)	18. ROM-T実技テスト(上肢)																																
4. ROM-T 下肢(状況に応じた測定の展開)	19. フィードバック・上肢復習																																
5. ROM-T 下肢(状況に応じた測定の展開)	20. フィードバック・上肢復習																																
6. ROM-T 下肢(状況に応じた測定の展開)	21. MMT総論																																
7. ROM-T実技テスト(下肢)	22. MMT肩関節①																																
8. ROM-T実技テスト(下肢)	23. MMT肩関節②																																
9. フィードバック・下肢復習	24. MMT肘関節・手関節																																
10. フィードバック・下肢復習	25. MMT肩甲骨																																
11. ROM-T 頸部・体幹(状況に応じた測定の展開)	26. MMT上肢まとめ																																
12. ROM-T 上肢(状況に応じた測定の展開)	27. MMT実技テスト(上肢)																																
13. ROM-T 上肢(状況に応じた測定の展開)	28. MMT実技テスト(上肢)																																
14. ROM-T 上肢(状況に応じた測定の展開)	29. フィードバック・上肢復習																																
15. ROM-T 上肢(状況に応じた測定の展開)	30. フィードバック・上肢復習																																
教科書	『理学療法評価学』【著】松澤正（金原出版） 『理学療法検査・測定ガイド』【編】奈良勲（分光堂） 『新・徒手筋力検査法』【著】Helen J. Hislop/Jacqueline Montgomery（協同医書出版）																																
参考書	適宜紹介する。																																
評価方法	実技試験																																
備考	評価器具の購入(プラスチックゴニオメーター、打診器、メジャー)																																

開講年度	令和2年度	開講期間	通年
科目名	脳血管障害理学療法		
担当教員	伊吹 太郎		
学年	2年	学科	昼間部 理学
単位数	2単位	時間数	60(30)時間
学習目標	<p>脳血管障害の症状とその評価、リハビリテーションについて、座学中心に講義を進めていく。加えて、外傷性脳損傷についても学ぶ。</p> <p>目標:脳血管障害の症状を理解する。</p> <p>目標:脳血管障害のリハビリテーションについて理解する。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 脳血管障害の分類 2. 脳血管障害の症状① 3. 脳血管障害の症状② 4. 脳血管障害の症状③ 5. 脳血管障害の画像所見の見方① 6. 脳血管障害の画像所見の見方② 7. 片麻痺運動機能検査(Brunnstrom test) 8. 片麻痺運動機能検査(上田式) 9. 高次脳機能障害(失語症) 10. 高次脳機能障害(失行・失認) 11. 高次脳機能障害の評価(半側空間失認について) 12. 脳血管障害の急性期管理と急性期リハビリテーション 13. 脳の可塑性とリハビリテーション 14. 外傷性脳損傷 15. まとめ、国家試験対策 		
教科書	<p>『脳卒中理学療法の理論と技術』【編】原寛美・吉尾雅春 (メジカルビュー社)</p> <p>『脳卒中に対する標準的理学療法介入 何を考え、どう進めるか?』【編】潮見泰蔵 (文光堂)</p>		
参考書	<p>『脳卒中・片麻痺理学療法マニュアル』【編】長澤弘 (文光堂)</p> <p>『病気がみえる<vol.7>脳・神経』【著】医療情報科学研究所 (メディックメディア)</p> <p>『ステップス・トゥ・フォロー』【著】Patricia M. Davies (シュプリンガーフェアラーク東京)</p> <p>『脳卒中最前線—急性期の診断からリハビリテーションまで』【編】福井囃彦 (医歯薬出版)</p> <p>『リハ実践テクニク 脳卒中』【編】千田富義 他 (MEDICAL VIEW)</p> <p>『実践MOOK 理学療法プラクティス これだけは知っておきたい脳卒中の障害・病態とその理学療法アプローチ』【編】嶋田智明 他 (文光堂)</p>		
評価方法	出席状況、授業態度、筆記試験		
備考			

開講年度	令和2年度	開講期間	通年
科目名	運動器障害理学療法		
担当教員	江口 昌充		
学年	2年	学科	昼間部 理学
単位数	2単位	時間数	60(30)時間
学習目標	運動器障害理学療法における臨床遭遇率の高い疾患、国家試験出題頻度の高い疾患と共に運動器基礎を学ぶ事で臨床応用力を培う事を目標とする。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション・総論 2. 運動療法 3. 肩関節解剖、運動学 4. 肩関節整形外科的検査 5. 上腕骨近位端骨折 6. 肩関節周囲炎 7. 肘関節解剖学、運動学 8. 肘関節整形外科的検査 9. 内側上顆炎 10. 手関節解剖学、運動学 11. 手関節整形外科的検査 12. 橈骨遠位端骨折 13. 胸郭出口症候群 14. 運動連鎖、バランス 15. まとめ 		
教科書	『ビジュアル実践リハ 整形外科リハビリテーション』【監修】神野哲也（羊土社）		
参考書	適宜		
評価方法	出席日数、出席態度、試験結果		
備考	解剖学、運動学、整形外科学、評価学等の理解が必要となり運動器障害理学療法の実技を行う授業になります。その為、自己復習をする事で授業にのぞんで下さい。		

開講年度	令和2年度	開講期間	通年
科目名	発達障害理学療法		
担当教員	伊吹 太郎		
学年	2年	学科	昼間部 理学
単位数	2単位	時間数	60(30)時間
学習目標	<p>胎児期あるいは出産時の問題から障がいを受けた子供達に対して、適切な評価及び治療が行えるための基礎知識を学ぶ。</p> <p>① 正常発達の理解：月齢に従って運動および精神発達を経時的に理解する。</p> <p>② 国家試験によく出題される遠城寺式と日本版デューク式発達スクリーニングテストを使用して、発達評価ができるようになる。</p> <p>③ 正常運動発達を運動学および原始反射・正常姿勢反射反応について学習し、正常発達と異常発達の理解を深める。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 1. 発達障害を学ぶことの意味について（障害児をもつ母親の言葉） 2. 運動発達理論 小児理学療法学テキスト 3. 遠城寺式乳幼児分析的発達検査法 および日本版デューク式発達スクリーニングテストによる正常発達の理解 4. 正常運動発達「小児理学療法学テキスト」 運動発達 5. 正常運動発達「小児理学療法学テキスト」 姿勢反射 6. 新生児 7. 1～3ヵ月 8. 1～3ヵ月 9. 4～6ヵ月 10. 4～6ヵ月 11. 7～9ヵ月 12. 7～9ヵ月 13. 10～12ヵ月 14. 10～12ヵ月 15. 国試対策 		
教科書	<p>『写真で見る 乳児の運動発達 生後10日から12ヶ月まで』 【著】Lois Bly（協同医書出版）</p> <p>『シンプル理学療法学シリーズ 小児理学療法学テキスト』 【著】田原弘幸・大城昌平（南江堂）</p>		
参考書	<p>『理学療法・作業療法のための神経生理学プログラム演習2 運動発達と反射 反射検査の手技と評価』</p> <p>【著】Marylou R. Barnes, Carolyn A. Crutchfield, Carolyn B. Heriza（医歯薬出版）</p>		
評価方法	出席状況、課題、試験により総合的に評価する。		
備考	<p>・運動発達、姿勢反射についてはイメージが湧きにくいかもしれませんが、「正常な発達の経過」を理解しておくことは小児疾患だけでなくその他の疾患を持つ対象者を評価・治療する際に助けとなります。</p> <p>・予習は各講に必要な解剖学、運動学を見直すこと。各講で国家試験問題を配布します。授業の復習として家庭学習を行って下さい。</p> <p>・授業の進行状況によっては追加授業を行うこともあります。出席率に換算されますので、注意して下さい。</p>		

開講年度	令和2年度	開講期間	前期
科目名	義肢・装具学 I		
担当教員	久保田 源		
学年	2年	学科	昼間部 理学
単位数	1単位	時間数	30時間
学習目標	義肢装具の種類・特性等を理解すること。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 義肢装具概論 2. 体幹 装具 3. 上肢 装具 4. 義手 5. 小テスト 6. 下肢 装具 7. 下肢 装具 8. 下肢 装具 9. 下肢 装具 10. 小テスト 11. 義足 12. 義足 13. 義足 14. 義足 15. 義足 		
教科書	『義肢・装具学～異常とその対応がわかる動画付き (PT・OTビジュアルテキスト)』 【著】豊田輝・石垣栄司 (羊土社)		
参考書			
評価方法	小テスト・筆記試験		
備考			